



# 菊武学園フラッシュニュース

## モンゴル国立大学と学術交流協定を締結

**名古屋産業大学・名古屋経営短期大学**では、モンゴル国立大学・政治学国際関係公共行政学院（ランバートル市・政治学、国際関係学、行政学などの分野で研究・教育を行う機関）と学術交流を目的とした交流協定を締結し、1月10日に本学にて調印式が行われました。

調印式では、名古屋産業大学・名古屋経営短期大学の高木弘恵学長と政治学国際関係公共行政学院のソノムダルジャー・ムンフバト学院長が協定書に署名しました。

協定締結にあたっては、駐日モンゴル大使館の全面的な支援もあり、公使参事官、地方交流担当の方にもご出席いただき、本学が海外展開する環境教育の推進や今後の取り組みについて意見交換が行われました。

交流協定には、留学生交換、教職員交流、共同研究および教育プログラムの共同開発・実施などが盛り込まれ、今後は両大学において多様な学問分野における連携が期待されます。

調印式終了後は、関係者同士が声を掛け合ったりする場面が随所に見られ、会場は終始にぎやかな雰囲気になっていました。

今回の協定締結は、名古屋産業大学現代ビジネス学部の由川稔准教授がモンゴル国立大学での留学経験や外務省在モンゴル日本国大使館に勤務していたご縁から実現したものです。

この内容は、1月11日付けの中日新聞朝刊なごや東版で紹介されました。



(協定を締結したムンフバト学院長(左)と高木学長)



(調印式終了後の記念撮影)

## 箏曲部 日本音楽部門で「優秀賞」を受賞

**菊華高等学校**では、箏曲部が1月10日に名古屋市青少年文化センターアートピアホールで開催されました「愛知県高等学校文化連盟日本音楽部門第40回発表会（愛知県大会）」で「天泣（橋本みぎわ作曲）」を演奏し、優秀賞を受賞しました。

この曲は2019年にTVアニメ化された大人気の青春学園漫画「この音とまれ！」の中で演奏された弦楽四重奏曲で、独奏、一箏、二箏、十七絃で構成される楽曲です。この作品は箏曲部の部員たちが全国大会を目指して、音と仲間、そして自分自身と向き合い成長していく姿を描いた日本の少年漫画で、そのストーリーは菊華高等学校箏曲部そのものです。

この度は大好きな曲で、このような賞をいただくことができ、大変光栄に思うと共に、次こそは全国大会を目指して更なる成長をしようと部員同士、力強く誓い合いました。



(受賞後の写真撮影)

## 絆と上達！笑顔あふれるウィンタースクール

**菊武ビジネス専門学校**では、2025年12月24日から26日までの3日間、長野県下高井郡にあるスキー場・竜王スキーパークにて「ウィンタースクール」を実施しました。今年は74名の生徒が参加し、道中で姉妹校の豊橋宮野ビジネス高等専修学校の生徒3名も合流し、例年以上に賑やかな旅となりました。

初日のシャリシャリした雪や2日目の雨、最終日の大雪と、厳しいコンディションが続きましたが、初心者も懸命に練習に励み、上達する姿が見られました。夜のクリスマス会やビンゴ大会も大いに盛り上がり、姉妹校の仲間ともすっかり仲良くなることができました。

別れを惜しむ声が出るほど、心温まる交流と充実した3日間となりました。



(絆を深める写真撮影)

## 本物の結婚式をトータルプロデュース

**名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院**では、ブライダルビジネス科とフラワービジネス科の2年生がプロデュースする本物の結婚式を1月25日に執り行いました。学生たちは昨年の夏頃からプロデュースの打ち合わせをスタートし、たくさんの課題を新郎新婦様とともに乗り越え、学校では各役割の動きを何度も練習して、本番の日を迎えました。

結婚式当日、朝早くからフラワービジネス科の学生が会場に花を飾り付け、ドレス・ヘアメイクコースの学生が新郎新婦様のお支度をし、ウェディングプランナーコースの学生が会場準備をして、いよいよ結婚式が始まりました。学生たちは緊張した中でも、今までの練習成果を出し切りました。無事に結婚式を終え、メインプランナーを担当した学生たちは「幸せそうな新郎新婦様やゲストの方々の笑顔を間近で見ることができて良かった」と晴れ晴れとした笑顔で話してくれました。



(新郎新婦への演出)



(結婚式終了後の写真撮影)

## 熱帯魚「ベタ」の飼育スタート

**豊橋宮野ビジネス高等専修学校**では、飼育クラブがこの冬から新たに熱帯魚「ベタ」の飼育に取り組み始めました。

鮮やかな色彩と優雅なヒレが特徴の「ベタ」は、観賞魚として人気が高く、飼育クラブの生徒たちも「ベタ」の様子に興味津々で、水槽の準備から水質管理まで専門的な知識を学びながら世話を進めています。飼育クラブの生徒は「色がとてもきれいで、毎日観察するのが楽しみ。元気に育てられるように頑張りたい」と意気込みを語っています。



(ベタの様子を観察する生徒)

飼育クラブでは、飼育の様子をまとめたレポートの発表も予定しており、生徒たちの活動の広がりが期待されています。

## 名産大生と一緒に「豆まき」を実施

**菊武幼稚園**では、1月29日に毎年恒例の豆まきを行いました。各学年工夫を凝らして鬼のお面や豆入れを作り、当日は2階講堂に集まって、上手にできた鬼の豆袋をみんなの前で披露しました。今年は姉妹校の名古屋産業大学現代ビジネス学部3年の中谷智美ゼミ・本田真ゼミの学生がたくさん参加してくれました。学生の皆さんは豆まきが始まる前から各教室に入って、子どもたちと交流を深めてくれました。そして、各教室に移動して鬼が出現すると子どもたちは大騒ぎで、自分で作った紙の豆を一生懸命投げる子、鬼が怖くて泣いてしまう子や、学生の後ろに隠れる子と様々でした。今年も節分の行事を楽しむことができ、学生との楽しい交流の場となりました。



(鬼を退治する園児)

## 園の畑でみかん・グレープフルーツ収穫

**稲葉保育園**では、保育園の畑になっている「みかん」と「グレープフルーツ」を収穫しました。子どもたちは「いい匂いがする」「大きいね」と話しながら、嬉しそうに大きさや形比べをしていました。同じみかんでも、皮がつるつるしたものや、表面がごつごつしたものがある、子ども同士で見せ合っていました。

みかんやグレープフルーツの木では、子どもたちは、春には青虫からさなぎ、そして蝶となって旅立つ姿を見て、そして冬には収穫をして、1年を通して楽しんでいます。



(みかん観察をする園児)